



# 鷹のつらきびしく老いて

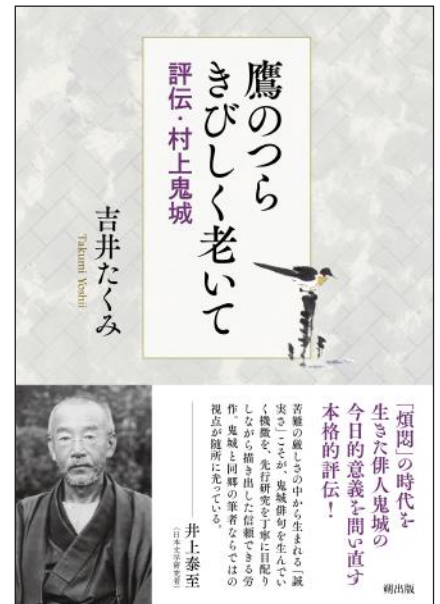
## 評伝・村上鬼城

吉井たくみ 著

「ホトトギス」の黄金時代を築いた  
境涯の俳人・村上鬼城を  
今に伝える本格的評伝！

日本文学研究者  
井上泰至氏  
絶賛！

若くして突然の耳疾により聴力をほぼ失うという苦難の中、高浜虚子の賞賛を受け、俳句の才能を開花させた村上鬼城。鬼城ゆかりの地・高崎に住む著者が、先行の研究資料をつぶさに読み解き、鬼城俳句の本質と魅力を再発見する。



四六判 上製 288頁  
定価：2750円（本体2500円＋税10%）

吉井たくみ（よしい たくみ）

1960年、群馬県高崎市生まれ。農林水産省、内閣府、消費者庁等に勤務。2013年「阿蘇」入会、俳句を始める。岩岡中正に師事。2018年「花鳥来」に入会、深見けん二に師事。「花鳥来」終刊後、「初桜」「櫻草」に入会。日本伝統俳句協会会員、俳人協会会員。

■主な内容

- I 鬼城の境涯と苦悩
  - II 「ホトトギス」と鬼城俳句
  - III 豊かなる俳縁
  - IV 円熟期の鬼城
  - V 鬼城俳句の真髄
  - VI 鬼城俳句鑑賞 三十句
- 村上鬼城年譜 ほか

世を恋うて  
人を恐るゝ余寒かな

冬蜂の  
死にどころなく歩きけり

鷹のつら  
きびしく老いて哀れなり

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRCより全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。（了解者 JRC 宮尾）

ご注文申込書	貴店名・帳合	注文数	発行 朔出版 電話・FAX 03-5926-4386
	(ご担当者名： )	冊	鷹のつらきびしく老いて 評伝・村上鬼城 吉井たくみ 著 四六判 / 上製 / 288頁 / 定価：2750円(本体2500円+税10%) ISBN978-4-908978-98-2 C0095